



【環境 DNA 事前サンプリング】

令和2年9月中（各自）

場所：町内各所の漁港、海岸



9月の調査隊活動として、各隊員宛に送られた環境DNAのサンプリングキットを使って、海水の採水とろ過作業を行っていただきました。サンプルは、千葉県立中央博物館に送り、現在分析中です。どんな生きもののDNAが見つかったかは、12月20日（日）の環境DNAイベントで、東京・福岡の会場とオンラインで繋いで発表する予定です。

【海のお魚釣り調査】

令和2年11月1日（日）8:45-12:00

場所：伊里前漁港（管の浜地区）

スタッフ：南三陸ネイチャーセンター友の会  
南三陸町自然環境活用センター



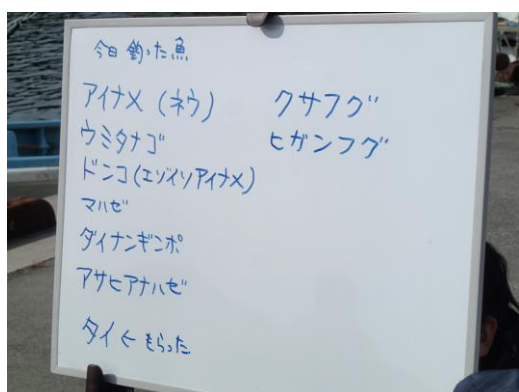
「どんな釣り方をしたの？」

- ①投げ釣り（仕掛けを投げて釣るやり方）
  - ②サビキ釣り（撒きエサを使って釣るやり方）
- ※釣り方によって、釣れる魚も違います。

「今年はどんな魚が釣れたの？」

・昨年の釣り調査でも釣れたアイナメやドンコなどに加えて、今年は初めてマハゼ、ダイナンギンポ、ウミタナゴなども加わり、9種類の魚が釣れました。

釣れた魚の一覧	
アイナメ	ウミタナゴ
マハゼ	ヒガンフグ
アサヒアナハゼ	クサフグ
ダイナンギンポ	マダイの幼魚
エゾイソアイナメ	（漁師さんより）



## 【子ども達の様子】

今回始めて釣りをする隊員は、イソメを針に取り付ける作業に苦戦している様子も見られましたが、次第に手慣れた様子でエサをつけ、海に向かって竿を降れるようになっていました。最初はなかなか魚がかかりませんでしたが、エサを変えたり、釣り場所を移動したりと工夫しているうちに、次々と魚が釣れ始め、港には歓声がこだましていました。



## 【調査隊の活動が、こどもエコクラブ全国事務局ホームページに掲載されます！】

南三陸少年少女自然調査隊の活動報告は、こどもエコクラブのホームページに掲載されます。みなさんもぜひご覧ください。

<http://www.j-ecoclub.jp/ecoreport/list.php>



## 【今後の予定】

11月28日（土）：大崎市蕪栗沼マガン観察会

「おおさき生きものクラブ」の子ども達と一緒に、オリエンテーションや加護坊山の登頂をして、夕方には蕪栗沼でマガンのねぐら入りの観察を行います。空が真っ黒になるほどのマガンの大群が、一斉に沼に降り立つ様子はまさに圧巻。この時期だけしか見られない光景なので、ぜひ参加してください！

12月5日（土）、6日（日）：壁新聞作り

昨年に引き続き、1年間の活動のまとめとして壁新聞作りを行います。今回も「全国エコ活コンクール：壁新聞部門」に応募するので、また宮城県代表になれるよう、みんなで協力して作りましょう！※今年度の「全国エコ活コンクール」は、コロナウイルスの影響を鑑みて、3月末頃の表彰式は受賞クラブのみ招待。また、各県代表クラブによる交流会は、オンラインでの開催となります。



☆昨年、環境大臣賞を受賞した南三陸少年少女自然調査隊の壁新聞『海の森へようこそ！』

12月20日（日）：環境DNA調査結果発表&結果共有イベント参加（オンライン）

9月にみんなでとった海水の分析結果を比べたり、東京や福岡の子ども達といっしょに環境について学んだりします。この回は、親子での参加を基本としますので、保護者の方もぜひご参加ください。



今年もみんなで協力して、すてきな壁新聞を作ってほしいでチュー。調査隊、ファイトでチューー！